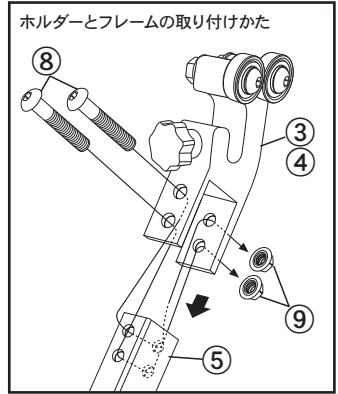


取扱説明書

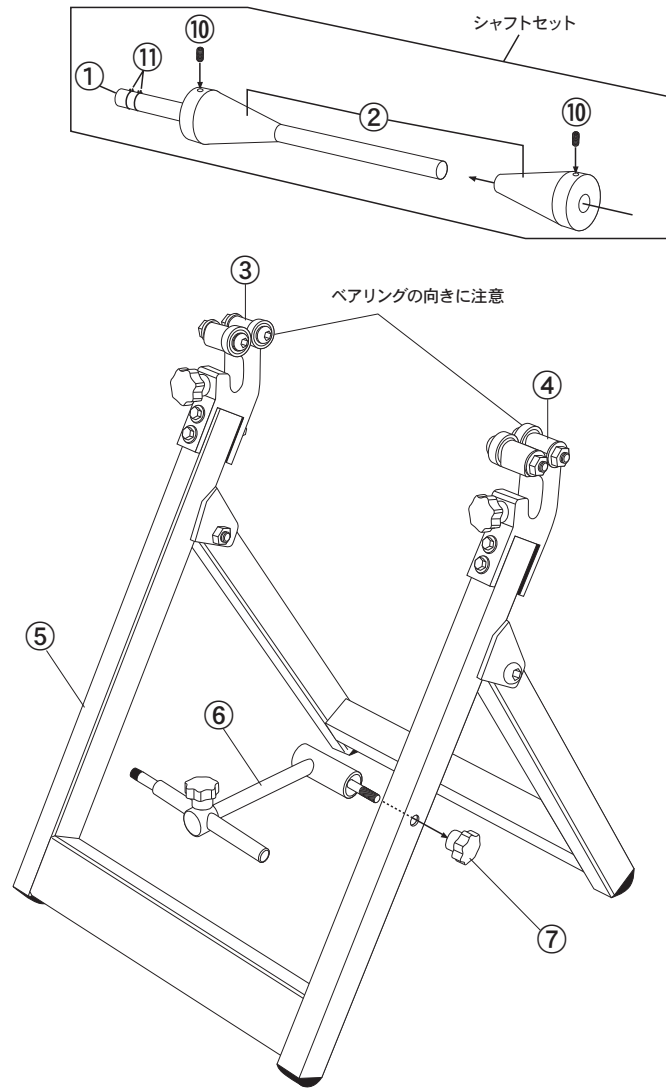
DRC GYRO STAND2

この度はDRC ジャイロスタンド2をお買い上げいただきありがとうございます。
本製品はホイールの振れ調整、バランス調整、ベアリングチェックが簡単にできる折りたたみ式スタンドです。
組み立て作業前に取扱説明書をよくご覧になり、正しく使用してください。

セット内容



③④ホルダーと⑤フレームを接続し、
⑧M6ボルトで固定する際、ガタが出ないよう
に正しく取り付けてください。
図はR側です。L側ではベアリングの向きが逆
になります。



1.使用上の注意

- ・ リムサイズは10インチ〜23インチまで対応しています。
※23インチ以上のバランス調整はタイヤが干渉するため使用できません。
- ・ ホイールベアリング内径15mm未満の車輛は別途オプションパーツが必要となります。
- ・ 折りたたむ際は指を挟まないようお気を付けください。

2.各部の名称、部品数

① シャフト	X1	⑤ フレーム	X1	⑨ M6ロックナット	X4
② クランプヘッド	X2	⑥ アームセット	X1	⑩ M6止めねじ	X2
③ ホルダーセット L	X1	⑦ ノブ赤 A (ナットタイプ)	X1	⑪ サークリップ	X2
④ ホルダーセット R	X1	⑧ ボルト	X4		

3.オプションパーツ

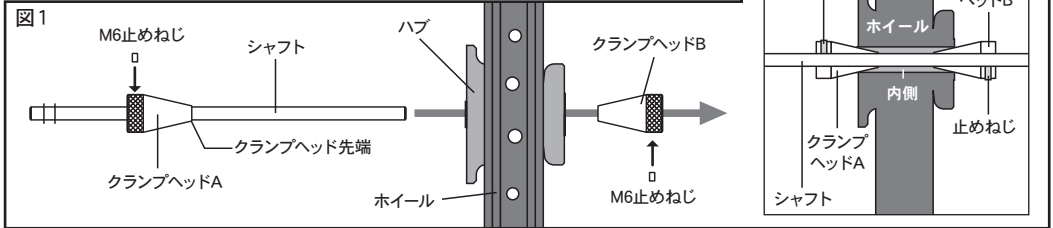
D36-52-191 ジャイロ オプション10mmシャフトセット
ホイールベアリング内径10mm〜15mm未満まで使用できます。

4.準備するもの

- | | | | |
|--------|----------------|----------|----------------|
| ■振れ調整用 | ・ スポークレンチ | ■バランス調整用 | ・ 新しいバランスウェイト |
| | ・ ヘキサゴンレンチ 3mm | | ・ ヘキサゴンレンチ 3mm |

5.シャフトセットとホイールの取り付け方

- 1) シャフトにクランプヘッドAを挿入しハブに通します。
- 2) ハブが中央になる位置でクランプヘッドAをM6止めねじで固定します。
- 3) 反対側よりクランプヘッドBをシャフトに挿入します。
- 4) シャフトを引っ張りながらクランプヘッドBをハブに押し当て、M6止めねじで固定します。
※クランプヘッドAのM6止めねじから180° 反対側にM6止めねじを固定してください。
- 5) クランプヘッドがハブに固定され、ガタが無いことを確認してください。

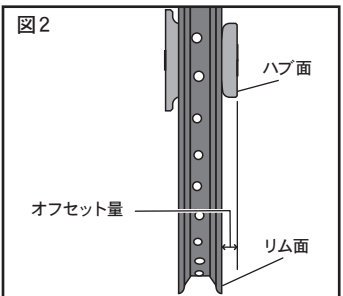


△【ご注意】

- ★一部車輛ではクランプヘッドが純正ハブの内側に入らない場合があります。
その場合はクランプヘッド先端で両側からしっかり押さえて固定してください。
- ★ホイールスペーサー、ダストシールははずしてください。

6.組み直しをする前に

ホイールを組み直す場合はあらかじめ分解する前にリムのオフセット量を確認する必要があります。
図2のようにハブ面からリム面のオフセット量を測ります。
その数値が基準になるので、メモしてください。



7.振れ調整機能の使い方

ホイールからタイヤを外した状態で作業を行います。

●セット方法

- 1) シャフトセットをホイールに装着します。(項目5参照)
- 2) シャフトセットを取り付けたホイールを、 図3のようにホルダーにセットします。
ノブ黒を締め込み固定してください。

●縦ぶれ調整

- 1) 図4のようにノブ赤Aを緩め、アームを動かしてゲージの先端がリムに近づくように固定します。
- 2) 図5のようにゲージの先端の側面をリム端に近づけてノブ赤Bで固定します。
- 3) ホイールをゆっくり回転させ、ゲージとリム端の隙間が一定になるようにニップルをスポークレンチで締め(緩め)て調整します。

●横ぶれ調整

- 1) 図4のようにノブ赤Aを緩め、アームを動かしゲージの先端がリムに近づくように固定します。
- 2) 図6のようにゲージの先端をリム面に近づけてノブ赤Bで固定します。
- 3) ホイールをゆっくり回転させ、ゲージとリム面の隙間が一定になるようにニップルをスポークレンチで締め(緩め)て調整します。

△【ご注意】

- ★縦ぶれ、横ぶれ調整を何回も繰り返し行います。
最終的にオフセット量を測り、図2で測定したオフセット量と同じになればOKです。
- ★ゲージ先端に、図7のようにメモリが刻まれているので、調整の目安になります。

★ニップルが適切なトルクで締め付けられていることを確認してください。

★振れ幅の限度はメーカー・車輛・ジャンルによって違います。
各メーカーのサービスマニュアルを確認してください。

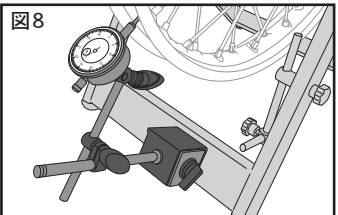
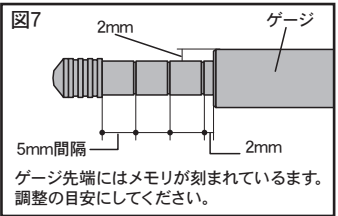
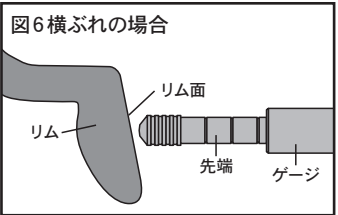
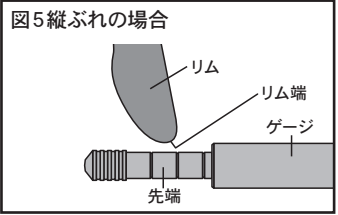
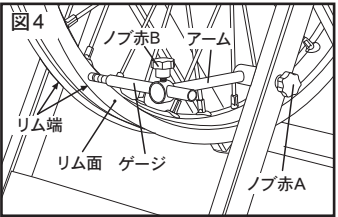
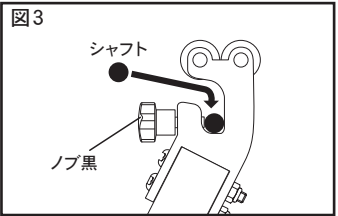
●ベアリングチェック

振れ調整の工程で、ホイールベアリングのチェックができます。

- 1) 図1のようにシャフトセットをホイールに装着してください。
- 2) 図3のようにホルダーをセットします。
- 3) ホイールを軽く回転させるだけで、ベアリングがスムーズに動作するかを確認できます。
動作が渋い場合はベアリング交換の目安としてご利用ください。

●ダイヤルゲージを使った調整

スタンド本体の手前側フレームに、マグネットベース付きダイヤルゲージの取り付けができます。(図8)
ダイヤルゲージを使うことにより、精度の高い振れ調整が行いやすくなります。
※ダイヤルゲージによるリムへの傷にご注意ください。

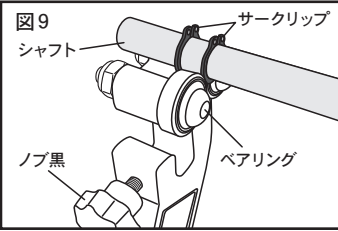


8.バランス調整機能の使い方

ホイールにタイヤが付いた状態で作業を行います。

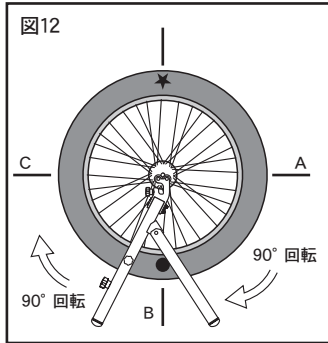
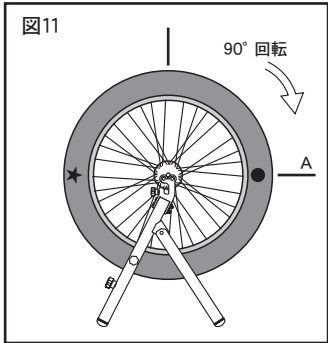
●セット方法

- 1) シャフトセットをホイールに装着します。(項目5参照)
- 2) 図9のように2か所のサークリップの間にベアリングがくるようシャフトをセットします。
この2か所のサークリップにより、作業中にシャフトが左右に動いてベアリングから脱落することを防ぎます。
- 3) ホイールがスムーズに回転しているかを確認してください。
★古いウェイトを外してください。
★タイヤビードが正しく出ているかを確認し空気圧を適正値にしてください。



●バランス調整

- 1) ホイールを軽く回し止まる位置を確認します。
数回繰り返し、止まる位置が一定でない場合はホイールのバランスが取れています。
常に一定の位置で止まる場合はバランスが取れていません。この時の最下部が重い点★です。(図10)
- 2) 重い点★の反対側が軽い点●となり、ここにバランスウェイトを取り付けます。(図10)
- 3) Aの位置まで90° 回転させ、重い点★と軽い点●が水平になる位置で静止するかどうか確認します。(図11)
つり合いが取れるまでウェイトの重さを調整します。
- 4) 静止が確認できたら更に90° 刻みでB、Cの位置まで回転させ、それぞれどの角度でも静止すればバランス調整完了です。(図12)



9.収納時

ジャイロスタンド2はコンパクトに折りたためます。
※ゲージが折れないように注意してください。
※指を挟まないように注意してください。

折り畳み寸法
幅340mm×長さ370mm×高さ110mm

